

岩尾別川流域における事業予定について

斜里町、知床財団、北見管内さけます増殖事業協会
「100 平方メートル運動の森・トラスト」（斜里町）および
北見管内さけます増殖事業協会の取り組み

斜里町では、1997 年より「100 平方メートル運動の森・トラスト」による事業として、幌別・岩尾別地区の森と生物相の復元に取り組んでいる。岩尾別川周辺は、かつてはカツラなどが見事な河畔林を形成していたが、昭和 56 年の大水害や、その後急増したシカの強い影響などで衰退し、河川そのものの環境も含めた改善が必要とされている。2011 年、この運動の趣旨に賛同したダイキン工業株式会社から、岩尾別川流域の自然環境改善のための事業（カツラの森、命あふれる川の復元事業）に対し、5 年計画で支援をいただけることとなった。川と遡河性魚類を通じた海域と陸域の物質循環は知床世界自然遺産の特徴の一つであるため、サケマス其自然産卵やオショロコマの資源量拡大を本事業の重要課題と位置付け、サケマスの自然再生産復元など既存事業の拡充も含めた取り組みを行うこととした。

一方、北見管内さけ・ます増殖事業協会では、2012 年度に岩尾別ふ化場施設の改修工事、および岩尾別川に設置している取水口周辺の河川環境整備を計画している。これらはルシャふ化場を撤去し、その機能を岩尾別ふ化場に統合するための整備である。取水口周辺の整備は、ふ化施設で必要不可欠な河川水をより安定的に確保することが主目的だが、合わせてサケ科魚類の自然産卵環境の回復も視野に、河川の環境改善を図るものである。

これらの取り組みは、同河川の魚類の生息・産卵環境改善のため、必要最小限の人為的な介入を行うものである。そのため、作業を行うことで意図に反して河川環境を悪化させたり破壊したりすることのないよう、専門家から十分意見聴取を行った上で計画を立案するとともに、作業後の遷移をモニタリングしながら、必要に応じて手直しを行うこととする。

斜里町と北見管内さけ・ます増殖事業協会は、「100 平方メートル運動の森・トラスト」の生物相復元事業について、これまでも連携・協力した取り組みを行ってきたこと、また、今回の事業についても、実施場所や時期、その他工法について重複または共通する部分が多いことから、両事業を連携して進めていくこととした。

【事業概要】

実施主体	実施場所	河川内での主な作業	その他関連作業
斜里町	岩尾別川本流（赤イ川分岐付近からピリカベツ川分岐付近まで約 1.5km 区間）	自然石の配置による瀬や淵の形成、および河道修正 過去に造成された土手の解消など	防鹿柵設置による河畔林の育成等
北見管内さけ・ます増殖事業協会	岩尾別川本流（赤イ川分岐付近から下流側約 1km 区間）	自然石の配置による瀬や淵の形成、および河道修正 （取水口周辺に水が滞留するよう配慮）	岩尾別ふ化場施設の増改築 （ルシャふ化場は解体・撤去）

1. 岩尾別川の河川環境の改善

実施場所と実施主体について

岩尾別川を二つの工区に分け、本流と赤イ川分岐の上流部約 150m 地点（最上流部の取水口）を境とし、下流側を北見管内さけ・ます増殖事業協会が担当、その上流側を斜里町が担当することとする。

各種作業について

コンクリートなどの人工物による改変や、遠地から材料等を持ち込むのではなく、岩尾別川河畔の自然石等を河道内に配置するなど、その場の自然物を利用した工法を用いることとする。改良箇所は翌年再度確認を行い、当初の意図と反した結果であった場合は必要に応じて手直し作業を行う。

河川内の直接的な改変を伴う主な作業項目は以下の通り。この他、河畔林再生の核となる防鹿柵の整備、カツラなど河畔林主要樹種の苗木育成等も行う予定である。

作業項目	目的	方法
取水口周辺整備	恒常的な施設への水の供給を可能とする	常に取水口周辺に水が滞留するよう、岩石等を配置する
導水管周辺整備	河床に埋設されている導水管が露出しないようにする	導水管周辺に土砂が堆積するよう、下流部に岩石等を配置する
河道の修正 (オショロコマ等の生息環境改善)	河道を適正な方向へ修正する。またオショロコマ等が滞留する淵や深みを作る。	上流部に岩石を配置し、流路を誘導する。淵や深みが形成されるよう配慮する。
サケマスの産卵環境改善	サケマスの産卵に適した緩やかな瀬を作る	緩やかな瀬が形成されるよう、上下流部に岩石等を配置する。
人為的土手の解消	過去に造成された河畔の人為的構造物を解消する	土手の頂上部等を取り崩す

各作業は、下流部から上流に向かって順次行っていく。また、作業実施後についても、大雨や融雪期の増水によって河川は絶えず変化していくことから、必ず前年（またはそれ以前）の作業結果を検証し、必要な手直しを行う。

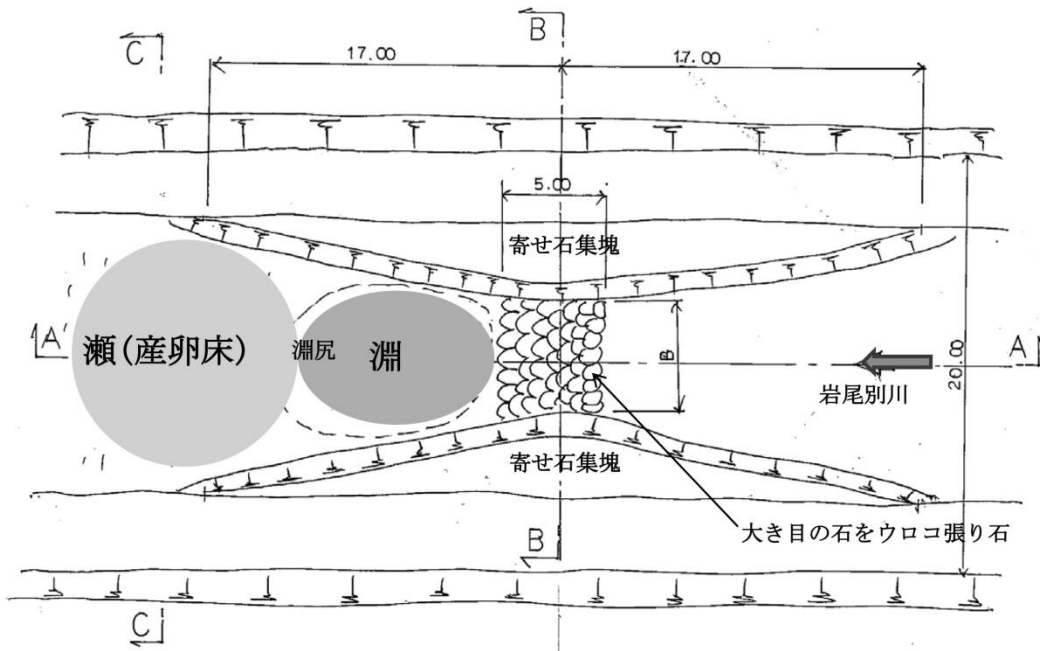
なお、作業実施にあたっては、環境省等関係行政機関及び地元漁業関係者、また、知床世界自然遺産科学委員会（河川工作物 AP）等との協議・合意形成を図りながら進めていく。

2. 事業全体の年次計画

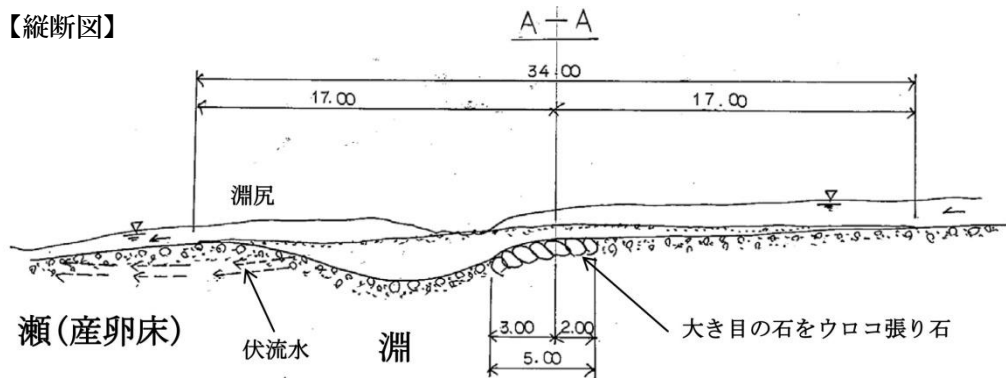
年度	斜里町 (100 平方メートル運動の森・トラスト)	北見管内さけ・ます増殖事業協会 (岩尾別ふ化場)
2011	現状調査・作業候補地選定 河畔林防鹿柵の設置等 各関係機関・団体（環境省・漁協・河川工作物 AP 等）への計画説明 許可申請手続き	現状調査・作業候補地選定 設計図面等作成 各関係機関・団体（環境省・町・河川工作物 AP 等）への計画説明 許可申請手続き
2012	河川環境改善作業実施 河畔林防鹿柵の設置等	岩尾別ふ化場施設増改築工事（ルシャふ化場の解体・撤去） 取水口周辺中心に河川環境改良
2013 ～2015	河川環境改善作業を順次実施 前年作業の振り返り・手直し 河畔林防鹿柵の設置等	

◎サケマスの産卵環境改善（案） （数字はm単位）

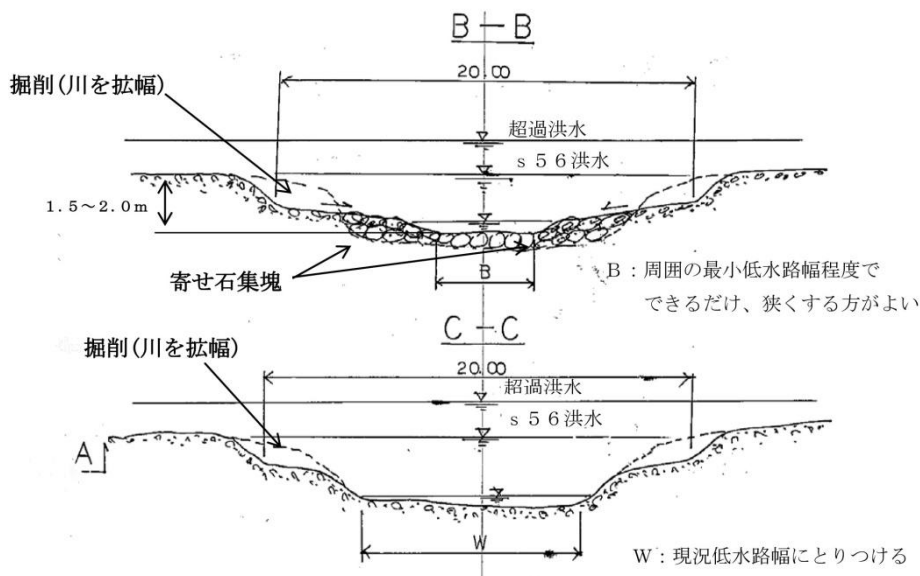
【平面図】



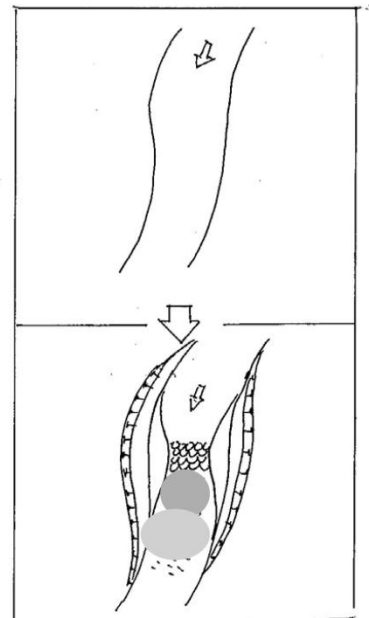
【縦断面図】



【横断面図】

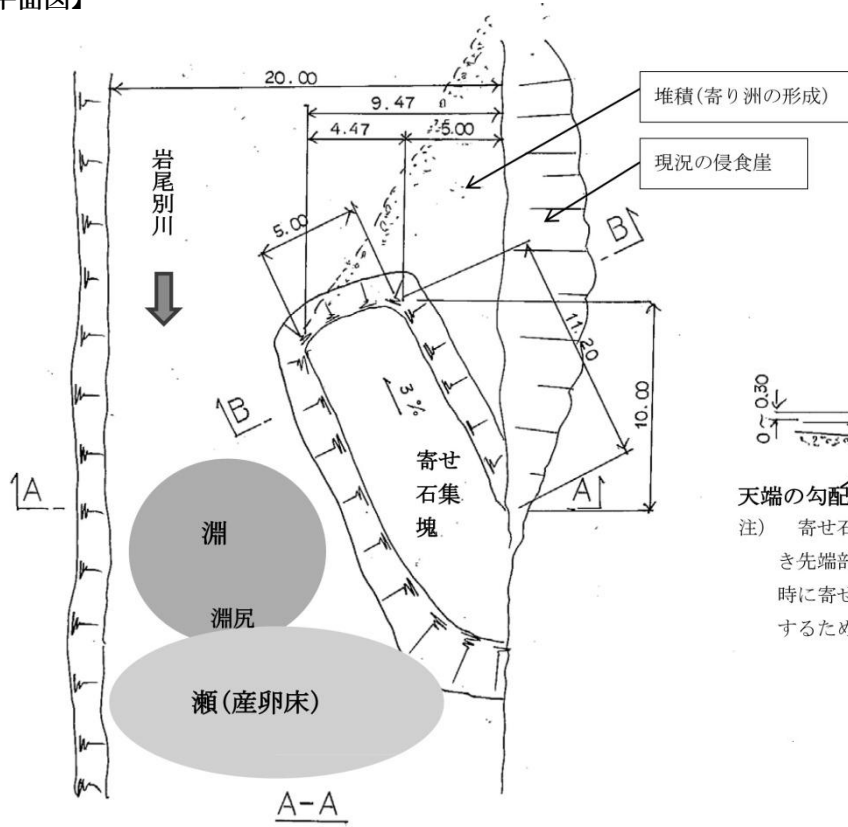


【模式図】

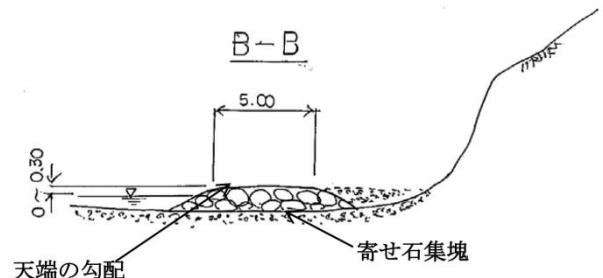


◎河道の修正（オシヨロコマ等の生息環境改善含む）（案）（数字はm単位）

【平面図】

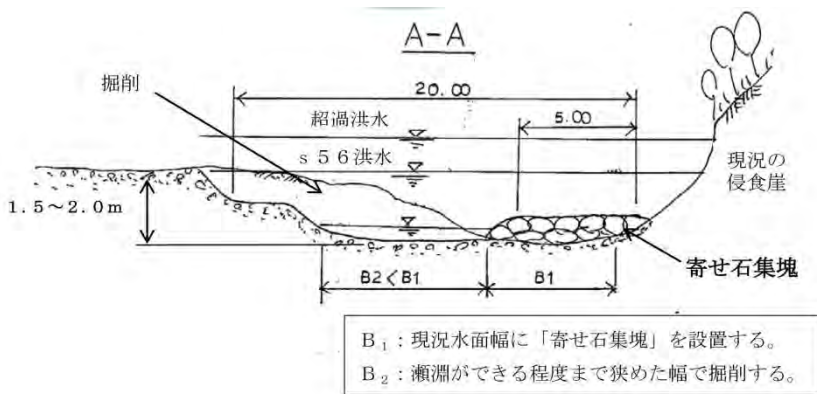


【横断面】



注) 寄せ石集塊の天端(てんば)は、岸(基部=根付部)から上向き先端部へ向かって、下り勾配(3%程度)をつける。小洪水時に寄せ石集塊を越流することで、上流河岸に寄り洲を形成するためである。

【横断面】



【模式図】

